

授業改善推進中期プラン 国語〔中学校第1～3学年〕

昭島市立昭和中学校

学年等	項目	内容
令和2年度 第1学年	学習に関する生徒の実態・課題	①落ち着いた態度で、意欲的に取り組む生徒が多い。しかし、姿勢がくずれやすく、集中力の持続に課題を抱える生徒もいる。 ②基礎的な課題に対しては、集中して取り組む生徒がほとんどである。 ③小集団の話し合い活動では、ほとんどの生徒が積極的に参加している。 ④知識を学ぶなどの活動では、意欲的に取り組めない生徒も見られる。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	①授業準備、家庭学習の習慣化。 ②基礎的な漢字力と文法の力。 ③他者と話し合いながら、課題解決をする資質・能力。 ④「書く・話し合う・スピーチする」など言語活動に必要な表現力。
	具体的な授業改善の方策	①週に一コマ漢字のドリルに取り組み、確認テストを行う。 ②小集団で話し合いながら正答を確認する授業を展開する。 ③小集団および全体の場で自分の意見を根拠とともに発言する場を設定した授業を展開する。 ④書写については、「楷書」「漢字と仮名のバランス」「行書」など、その時間のめあてを明確にし、課題に取り組ませる。
	第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題	①忘れ物が目立つ生徒もいるので、自身で解決策を考えられるよう支援したい。 ②文法・漢字の定着度は個人差を感じる。来年度も繰り返し確認をしたり、応用しながら定着させたい。 ③1時間の中で精選した発問を一つ小集団での話し合わせた。意欲的に取り組む生徒がほとんどであった。 ④文学・説明的な文章など、さまざまな文章にふれることができた。毎学期に一つスピーチを行った。感想文や説明文の要約、鑑賞文などいろいろな文章を表現させた。 今年度身につけた力をベースにして、次年度以降さらに発展させて、日本語を大切にすることを養いたい。
令和3年度 第2学年	学習に関する生徒の実態・課題	①落ち着いた態度で、意欲的に取り組む生徒が多い。発達に課題を抱えた生徒の中には、姿勢がくずれやすく、集中力の持続に困難を抱える生徒もいる。 ②基礎的な課題に対しては、集中して取り組む生徒がほとんどである。 ③小集団の話し合い活動では、ほとんどの生徒が積極的に参加している。 ④知識を学ぶなど、受け身の活動では全体的に消極的な態度が見られる。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	①授業準備、家庭学習の習慣化。 ②基礎的な漢字力と文法の力。 ③他者と話し合いながら、課題解決をする資質・能力。 ④「書く・話し合う・スピーチする」などさまざまな表現活動。
	具体的な授業改善の方策	①週に1時間は「言語」の時間とし、漢字・語句・文法・古典などの基礎的な学習にあてている。 ②小集団で話し合いながら正答を確認したり、さまざまな視点からものごとをとらえたりする授業を展開する。 ③小集団および全体の場で自分の意見を根拠とともに発言する場を設定した授業を展開する。 ④ICTを活用し、教材のイメージを豊かにしたり、情報を整理したりする。 ⑤書写については、「行書」「漢字と仮名のバランス」「書き初め」など、その時間のめあてを明確にし、課題に取り組ませる。
	第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題	①週に1コマの言語(知識・技能)の授業では、古典などの知識や語彙、文法などの力を養った。 ②昨年度同様に1時間の中で精選した発問を一つ(場合によってはさらに発展させた発問も)小集団で話し合わせた。これらを通して物事の答えを性急にもとめず、多面的にとらえる生徒が増えてきているように思われる。 ③文学(詩歌・小説・随筆)、説明的な文章(記録文・評論文・解説文)など、さまざまな文章にふれることができた。毎学期に一つスピーチを行った。感想文や説明文の要約、鑑賞文などいろいろな文章を表現させた。 ④今年度身につけた力をベースにして、次年度以降さらに発展させて、日本語を大切にすることを養いたい。
令和4年度 第3学年	学習に関する生徒の実態・課題	①落ち着いた態度で、意欲的に取り組む生徒が多い。 ②基礎的な課題に対しては、集中して取り組む生徒がほとんどである。 ③小集団の話し合い活動では、ほとんどの生徒が積極的に参加している。 ④知識を学ぶなどの活動では消極的な態度が見られるため、授業展開に工夫が必要である。 ⑤個に応じた支援の必要な生徒に対する発問や設問の設定は研究が必要である。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	①授業準備、家庭学習の習慣化。 ②基礎的な漢字力と文法の力。 ③他者と話し合いながら、課題を解決する資質・能力。 ④「書く・話し合う・スピーチする」などさまざまな表現活動。 ⑤母語である「日本語」を生涯にわたって大切にする意識。
	具体的な授業改善の方策	①小集団で話し合いながら正答を確認したり、さまざまな視点からものごとをとらえたりする授業を展開する。 ②小集団および全体の場で自分の意見を根拠とともに発言する場を設定した授業を展開する。 ③ICTを活用し、教材のイメージを豊かにしたり、情報を整理したりする。 ④書写については、「行書」「漢字と仮名のバランス」「書き初め」など、その時間のめあてを明確にし、課題に取り組ませる。
	年度末	中学校3年間のまとめ

授業改善推進中期プラン 国語〔中学校第1～3学年〕

昭島市立昭和中学校

学年等	項目	内容
令和3年度 第1学年	学習に関する生徒の実態・課題	①学習に対して意欲的に取り組むことができる。 ②生徒によって特性もさまざま、音声による理解が苦手な生徒、集中が続かない生徒、書字に課題がある生徒が在籍している。 ③スピーチ・音読などの技能が高い。 ④発問に対する考えや感想などをしっかりもつ。 ⑤知識の定着に関しては消極的である
	教科で身に付けさせたい資質・能力	①語彙・漢字・文法などの知識を定着させ、活用する力 ②相手にわかりやすく考えを伝える論理的思考力と表現力 ③情報を比較、分類して取捨選択し、物事を判断したり、考えをもつ力 ④意見の理由や根拠を読み取って、文章の内容を把握する力 ⑤文章の構成を整えて、読みやすい文章を書く力
	具体的な授業改善の方策	①漢字練習や「言の葉手帳」を通して集めた語彙を、短作文やスピーチなどで活用させていく。 ②話し合い、スピーチ、作文などの表現活動の際に、相互に評価を行う機会を取り入れる。 また、指導者の評価の仕方も必ず説明をして、何を指しているかを理解させる。 ③ICTを活用しながら、情報処理の学習活動を取り入れていく。 ④文章を読み取る際に、意見と根拠に焦点を当てられるようにしていく。 ⑤視覚的に構成を捉えさせる工夫を行う。(付せん 思考ツールなど)
	第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題	①漢字練習や「言の葉手帳」を通して、言葉に触れる機会を設けることができた。得た言葉を活用していくことが課題である。 ②情報を視覚的に処理する方法を学んだ。 ③文章を書く機会を増やし、目的や相手に応じた文章を書けるようにする。
令和4年度 第2学年	学習に関する生徒の実態・課題	①漢字の力が二極化しており、家庭学習ができている生徒とそうでない生徒の差ができてくる。 ②生徒によって特性もさまざま、音声による理解が苦手な生徒、集中が続かない生徒、書字に課題がある生徒が在籍している。 ③言葉への興味関心や、言葉を通じた創作意欲が低い。 ④論理的に説明する力にやや課題がある。
	教科で身に付けさせたい資質・能力	①原因と結果を読み取ったり、意見と理由を結び付けられる論理的思考力 ②言葉に向き合い、より伝わる言葉を選択しようとする資質 ③情報を比較、分類して取捨選択し、物事を判断したり、考えをもつ力
	具体的な授業改善の方策	①漢字練習や文法問題などの継続的な練習の場面の設定 ②ICTを活用しながら、情報処理の学習活動を取り入れていく。 ③文章を読み取る際に、意見と根拠に焦点を当てられるようにしていく。 ④視覚的に構成を捉えさせる工夫を行う。(付せん 思考ツールなど) ⑤新聞やニュース、話題になった本や短歌の紹介などから、言葉への興味のきっかけを提示する。
	第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題	
令和5年度 第3学年	学習に関する生徒の実態・課題	
	教科で身に付けさせたい資質・能力	
	具体的な授業改善の方策	
	中学校3年間のまとめ	

授業改善推進中期プラン 国語〔中学校第1～3学年〕

昭島市立昭和中学校

学年等		項目	内容
令和4年度 第1学年	令和4年10月	学習に関する生徒の実態・課題	①落ち着いた態度で、意欲的に取り組む生徒が多い。しかし、姿勢がくずれやすく、集中力の持続に課題を抱える生徒もいる。 ②基礎的な課題に対しては、集中して取り組む生徒がほとんどである。 ③小集団の話し合い活動では、ほとんどの生徒が積極的に参加している。 ④知識を学ぶなどの活動では、意欲的に取り組めない生徒も見られる。
		教科で身に付けさせたい資質・能力	①授業準備、家庭学習の習慣化。 ②基礎的な漢字力と文法の力。 ③他者と話し合いながら、課題解決をする資質・能力。 ④「書く・話し合う・スピーチする」など言語活動に必要な表現力。
		具体的な授業改善の方策	①週に一コマ漢字のドリルに取り組み、確認テストを行う。 ②小集団で話し合いながら正答を確認する授業を展開する。 ③小集団および全体の場で自分の意見を根拠とともに発言する場を設定した授業を展開する。 ④書写については、「楷書」「漢字と仮名のバランス」「行書」など、その時間のめあてを明確にし、課題に取り組ませる。
	年度末	第1学年における生徒の達成度と第2学年に向けての課題	
令和5年度 第2学年	令和5年10月	学習に関する生徒の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	第2学年における生徒の達成度と第3学年に向けての課題	
令和6年度 第3学年	令和6年10月	学習に関する生徒の実態・課題	
		教科で身に付けさせたい資質・能力	
		具体的な授業改善の方策	
	年度末	中学校3年間のまとめ	